



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県・いわき市】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	いわき市立錦小学校 5・6年児童 110名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育科) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	オリンピックに出場した朝原宣治さんを招き、スポーツの価値への理解を深めるとともに、スポーツの楽しさや生涯を通して運動をすることの大切さを感じ取る児童の育成を図る。
5 取組内容	<p>【講話】 10:30~11:15 (体育館)</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="width: 600px;"> <p>北京オリンピックの4×100mリレーの映像を紹介しながら、特に日本チームが誇るバトンパスの秘訣について話していただいた。 また、オリンピックの体験談や今までの人生で大切にしてきたことなどについても話していただいた。</p> </div> </div> <p>【スポーツ教室】 11:25~12:10 (校庭)</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 450px;"> <p>講話後に、校庭でスポーツ教室を開いていただいた。まず、準備体操後、全員で朝原さんを先頭に校庭をジョギングした。そして、校庭を広く使い、朝原さんから「走る」ための基礎基本を一緒に体を動かしながらいねいに教えていただいた。日頃、触れることのないオリンピックの指導に子どもたちは目を輝かせながら話をじっくりと聞き、良い汗を流していた。 最後に、児童代表からお礼の言葉を述べ、朝原さんとの別れを惜しんだ。</p> </div>  </div>

<p>6 主な成果</p>	<p>○4大会オリンピック出場のオリンピックと触れ合える機会ということで、子どもたちは目を輝かせながら最後まで話を聞き、「夢」に向かって努力することの大切さを学ぶことができた。</p> <p>○オリンピックとのスポーツ教室を実施したことで、より一層子どもたちの、陸上競技（スポーツ）への意欲向上が図られた。</p> <p>○1～4年生も、スポーツ教室の時には全員校庭に出て、校庭の周りから、朝原さんの指示する動きに合わせて、体を動かすなどして楽しむことができた。</p> <p>○保護者に向けて、朝原さんが来ることを事前に連絡したところ、当日多くの保護者が学校に足を運んでくれた。</p>
<p>7実践において工夫した点 （事業の特色）</p>	<p>○児童の興味や関心を高めるために、講話だけではなく、実際に体験できる内容も加えた。</p> <p>【講話】</p> <p>○オリンピック出場までの話やオリンピック大会中の話等を映像を交えながら、パワーポイントで具体的に話してもらうようにした。</p> <p>【スポーツ教室】</p> <p>○オリンピックが陸上選手であったので、陸上運動の基礎基本を実技を通して学べるようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○講師は早く決まったが、日程調整が難しく、多くの時間を要した。</p> <p>○スポーツ教室を開いていただいたことは、とてもありがたかったが、その内容が陸上運動の基礎基本のみだったので、遊びを取り入れながら楽しめるような交流があると、さらに効果があったと考える。</p> <p>○掲示板等を活用し、オリンピック・パラリンピック事業への意識の高揚を図るとより効果的であった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○今年度の経験を生かし、今後はオリンピック・パラリンピックにおける興味・関心をますます高められるように、機会を捉えて啓発していきたい。</p>